

【様式】

政 務 活 動 一 覧

議員名：尾崎 薫

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の 内容	関連領収書 番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
R7.5.18	18:00～ 20:00	米子市	ANA ホテル	金田コーポレ ーション(株)畑 島社長	民間企業におけ る非正規雇用の 正規化について	5-11
R7.5.19	11:00～ 12:00	南部町	南部町役場	南部町長	南部町の町政に ついて意見交換	5-11
R7.6.1	10:00～ 11:30	鳥取市	鳥取市民交流 センター	県民一般	議会報告、前田 昭博さんパリ個 展報告	5-10
R7.6.30～ 7.1	R7.7.1 10:00～ 16:00	大阪府	大阪関西万博	関西本部 大 阪・関西万博課	鳥取県デーの視 察	活動報告(県 外)のとおり
R7.7.12	13:30～ 16:00	米子市	コンベンショ ンセンター	鳥取自死遺族 自助グループ コスモスの会	自死、自死遺族 の問題について	7-4
R7.8.23	14:00～ 15:00	鳥取市	ギャラリー集	鳥取市立美術 館をつくる会	美術館について	8-6
R7.9.30	10:30～ 14:00	米子市	国際ファミリ ープラザ	鳥取私塾の会	発達障がいとコ グトレ	9-10
R7.10.20 ～10.21	R7.10.20 13:00～ 17:00 10.21 9:00～ 12:00	島根県	①はたマー ケット、②(株) 加地、③島根 県議会議事 堂	①波多交流セ ンター 藤原 さん②管理グ ループ 藤原 さん③政務調査 課 藤原さん	買い物支援 企業訪問 国スポについ て等	10-8～11

活 動 報 告（県外・~~国外~~）

議員名：尾崎かおる

活 動 事 項	大阪・関西万博視察
活 動 年 月 日	R7 年 6 月 30 日（月） 移動日、宿泊 7 月 1 日（火） 10:00～16:00 政務活動
場 所	大阪・関西万博
活動の相手方	関西本部 大阪・関西万博課
活 動 の 目 的	・大阪・関西万博の開催状況 ・鳥取県関連のイベント等の状況視察
活 動 の 内 容	①鳥取のブース：砂丘の砂、プロジェクションマッピング等 ②他県のブース ③サンドアライアンスセレモニー ④鳥取県の食について（牛骨ラーメンなど） ⑤鳥取県の伝統芸能について（因幡の傘踊りなど） ⑥鳥取の日関連のその他イベント等 の視察
活動の結果等	会場について ・“とにかく並ぶ”のでなかなかあれこれ見られない不便さがあった ・専用バスなら良いが個人で来る場合は大変だと感じる ・暑さ対策、トイレはよく考えて整備されていた ・食事をする場所がベンチになるのは仕方ないが混雑する日などはより大変になる ・聴覚、視覚など障がい者が楽しめる工夫がもっとほしい 鳥取県関連のことについて ・サンドアライアンスセレモニーは各国への広がりを感じられよかった。暑い中知事も、各国の代表もがんばっておられた。 ・傘踊り等ステージイベントがとてもよかった。県外の方もたくさんみておられ、とても宣伝になっていた。 ・鳥取デーのショーも工夫されていてよかった。 ・知事の大活躍が目立ちました！ 今後の鳥取県の観光施策等に活かしていきたい。
関連領収書番号	6-16

活 動 報 告 (県外・国外)

議員名：尾崎 かおる

活 動 事 項	島根県内の福祉の視点をもった過疎地のまちづくりなど
活 動 年 月 日	令和7年10月20日(月) 13:00~17:00 政務活動 同上 21日(火) 9:00~12:00 政務活動
場 所	島根県内 (はたマーケット、俣加地、島根県議会議事堂)
活動の相手方	はたマーケット：波多交流センター 〇〇さん、俣加地：管理グループ 〇〇さん、島根県議会：政務調査課 藤原さん
活 動 の 目 的	過疎の町で住民・NPO 協働による買い物、高齢者活動や奥出雲に工場をもつ企業活動、島根県の国スポ準備等を調査し、鳥取県政に活かす。
活 動 の 内 容	① 雲南市 はたマーケット ② 奥出雲 俣加地 ③ 島根県庁 ・国民スポーツ大会 2030 島根大会の準備状況 ・農業施策 ・原子力防災の避難計画 について調査した
活動の結果等	① 住民、特に高齢者の生活を支える買物、脳トレ、体のトレーニング、趣味の活動等幅広く行っている。レジに人はいなくて呼び出し鈴で事務所の人が来るなど地元の信頼関係の厚い地域での利点を生かした活動をしていた。商品も少量、求めやすい値段のものも多く、何よりカップ麺には「スープは全部飲まないで！」のシールを貼るなど町の保健師も協力して健康づくりにも寄与していた。 ② 俣加地では自動車レーサーのネック用、介護・健康用具等様々な用途のクッションを製造している。基本的姿勢は、 1. 地域に拠点を置き、地域の雇用を創出 2. 都会でも売れる製品 (パステルカラーのファッショナブルなもの) 3. 販売拠点、企画は都会で →山奥の向上が全国を相手にした活躍をしている。その手法に学ぶべきところが多い。 ③県庁では、・国スポの準備状況を調査した。市町村、関係団体、会場、ボランティアなど膨大な作業とアレンジが必要でありこれを国庫支出はほとんどなくやらなくてはいけない。この国スポは見直す時期と感じた。 ・原発事故避難計画は鳥取県の方がより進んでいた。 ・米政策は国の方針も変わっていく中、どこも苦労している。大規模農家も、また中小農家にも光をあてた対策が必要。
関連領収書番号	10-8~11